

# 新年に 年頭の



東通村議会議長 小笠原 清 春

新年、明けましておめでとうございませう。希望に満ちた新春を迎え、皆様のご健勝とご繁栄を心から寿ぎ、東通村議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様には、平素より議会に対する格別のご理解と絶大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年四月執行されました東通村議会議員一般選挙後の初議会におきまして、議員各位のご推挙により議長のお職に就かせて頂きました。誠に身に余る光栄であり、衷心より感謝申し上げますとともに、この重責を痛感している次第であります。

議長就任以来、議員各位のご協力を頂きながら、複雑多様化する行政需要に的確に対応するため、開かれた議会と村政の伸展を一義として、誠心誠意努力して参りました。

本村の礎を築かれた先人の方々に深く感謝申し上げ、愛する郷土東通村を未来の村民に誇りをもつて引き継ぐことのできるよう、一層の努力をお誓いし、新年を迎え、決意を新たにしているところであります。

さて、昨年三月の東日本大震災により被害に遭われた皆様に対し、改めてお見舞い申し上げます。改めまして、お亡くなりになられた多くの方々に深い哀悼の意を表するところであります。

その地震発生から、既に十ヶ月が経過しようとしていますが、震災のつめ跡は大きく、復興への道のりはまだまだ遠い状況にあります。被災町村においては、多くの方々が未だ避難生活を余儀なくされておられ、又、福島第一原子力発電所の事故もいつ収束するか懸念するところであり、村議会といたしましては、原発立地村として被災された方々が元の暮らしを一日も早く取り戻せるよう、国及び関係機関に対し、これまで以上に強く要請して参る所存であります。

ときに、我が国の経済は、歴史的な円高の下で、成長率の低下、雇用情勢においても依然として厳

しく、加えて東日本大震災からの復旧・復興という新たな困難に直面しているものと受け止めております。又、本格的な少子高齢化、人口減少社会が到来する中で、国民が安心できる社会保障制度の確立を一体的に進めていくことが求められており、特に日本の少子高齢化は最速のスピードで進んでおり、日本国民に安心を与える持続可能な社会保障制度の構築を早期に確立していくべきと認識しております。

本村の基幹産業である第一次産業において、農業の稲作は、平年並みの収穫となり、漁業においては、イカ漁は平年並みの水揚げとなったものの、サケ漁の水揚げは平年を下回りましたが、高値であったことから金額では平年並みとなり、漁家にとっては安堵されたものと思えます。

皆様ご承知のとおり、我が村は市町村合併をせず、原子力発電所との共生により、単独で発展する道を選択しております。地方財政は厳しさを増す一方であり、村民皆様の期待にこたえるべく、今後とも急激な社会情勢の変化に対応しつつ、的確な施策の展開に向け努力をして参りたいと存じます。

一方、東通原子力発電所において、東北電力一号機の再稼働、東京電力の建設工事再開は、昨年の大地震と大津波による福島第一原子力発電所の事故により、国や事業者から具体的な見通しは示され

ておらず、議会としても、村と同一歩調の元、一刻も早い事故の収束、原因究明、対策などを関係機関に強く要請することとしております。

東通原子力発電所は、本村議会において昭和四十年誘致決議以来、一貫として原子力の共生により村民の福祉向上を目指して、着実に歩み続けて参りました。東通原子力発電所の建設計画は、村の振興計画の実現に大きな影響を及ぼすものと認識しており、東通村議会といたしましては、今後とも原子力発電所の推進に協力して参りたいと考えております。

ところで、保育園につきましては、平成二十四年四月開園を目指して工事が着実に進んでいるところであり、我が村の次代を担う人材育成のため、幼小中一貫教育の環境を整えることは最重要課題であり、引き続き、強力で推進して参る所存であります。

本年も、内外の経済、社会情勢の厳しい中ではありますが、村議会に与えられました村民の皆様からの信託とご期待に添うべく、懸命な努力を傾注する所存でありますので、何とぞご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

ここに、村民の皆様のご多幸とご繁栄をお祈りするとともに、平成二十四年が我が村にとって希望に満ちた年となりますよう念願し、新年のご挨拶と致します。